

全国大学書道学会

会報

17

平成29年(2017)
2月15日発行
全国大学書道学会

全国大学書道学会 平成二十八年度(岩手)大会を終えて

岩手大学 玉澤 友基

平成二十八年九月二十三・二十五日、大学書道三学会が本学を当番校として開催されました。

本学会は、最終日の二十五日に、岩手大学総合教育研究棟(教育系)を会場として、約六十名が参加して開催されました。初めに総会、その後、二会場に分かれて午前は六件、午後は一会場三件の研究発表がありました。準会員からベテラン会員の発表まで、年代構成もバランスが取れ、内容も日本、中国、朝鮮とエリアも広がりがある発表でした。

その後、「^{ドラマ}摩擦の劇」としての宮澤賢治童話―井上有一との接点をめぐって―と題して、岩手大学人文社会科学部教授・宮澤賢治学会イーハトーブセンター理事の木村直弘先生(専門は美学・藝術学)に記念講演を頂きました。先生は書にも造詣が深く、チェロを持ち込んで音を出しながら、摩擦、震動、音、筆触等をキーワードに、井上有一の制作方法や宮澤賢治の世界等について解説頂きました。

また、会員書作展は、二十三・二十五日の三日間、附属図書館ギャラリーにおいて開催、五十一一点の作品が寄せられました。今年は、石川啄木生誕百三十年、宮澤賢治生誕百二十年に因み、花巻ゆかりの高村光太郎を加え、第一部にテーマ「啄木・賢治・光太郎を書く」を設定、地域に密着した活動も展開出来ました。

本学会開催にあたり、ご協力頂いた関係各位に感謝申し上げます。

“第五十八回大会を終えて”

副理事長 柿木原 くみ

九月二十三日・二十五日、盛岡市の岩手大学を会場に三学会大会が開催されました。岩手大学の玉澤友基先生、平田光彦先生はじめ学生の皆さん、関係各位には大変お世話になりました。心より御礼申し上げます。

最終日となる二十五日が本学会で、総会のあと、午前中は二会場に分かれて六名の、午後は一会場で三名の研究発表が行われました。内訳は中国・日本関係が各四件、朝鮮関係が一件の合わせて九件の内容豊かな発表でした。

研究発表終了後、岩手大学人文社会科学部教授で美学・藝術学をご専門とされる、木村直弘先生による講演「^{ドラマ}摩擦の劇」としての宮澤賢治童話―井上有一との接点をめぐって―を拝聴いたしました。賢治祭の四日後に、賢治の母校・岩手大学での、賢治と井上有一との接点へのアプローチは大変興味深い内容でした。賢治の「雨ニモマケズ」を書いている有一の独言の声と、筆触の音が彷彿といたしました。忘れ得ぬ大会となりました。

図書館内のギャラリーで開催された会員書作展には、五十一一点の出品がありました。半折、半折1/2・1/3の軸装作品が主体でした。二〇一六年は石川啄木生誕一三〇年、宮澤賢治生誕一二〇年に当たります。また、賢治の弟である清六を頼って疎開し、七年間の農耕自炊生活を送った高村光太郎は没後六〇年でした。開催校より三人の詩文の書作品を、との提案を入れパトIとし、自由選択作品をパートIIといたしました。今回のように郷土を代表する文学者の詩文や、地域に関わる文化財などをテーマとする詩文を題材とする試みは、会員書作展の取組みとして意義あることと思います。

啄木・賢治・光太郎の三人は、本郷菊坂や千駄木林町など東京都文京区に住居していましたので、文京区でも啄木・賢治関係の企画が目立ちました。彼らを育んだ盛岡の街は市内をゆったり流れる北上川、遠くに悠然と聳える岩手山を望んで、爽快な広がりがあり、文学や書における風土の有り様というのを改めて考えさせられました。

全国大学書道学会 平成28年度(岩手)大会 次第

期 日 平成28年9月25日(日)
 会 場 岩手大学総合教育研究棟(教育系)北桐ホール E21 教室 附属図書館1階アザリアギャラリー
 開催大学 岩手大学

●9:00 受 付(参加費 会員4,000円 準会員〈大学院生〉2,000円)

●9:20～10:20 平成28年度総会/開会式(北桐ホール)

- | | |
|----------------------------|-----------------|
| 1. 開会のことば | 柿木原 くみ(相模女子大学) |
| 2. 開催大学あいさつ | 岩手大学 玉澤 友基 先生 |
| 3. 理事長あいさつ | 横田 恭三(跡見学園女子大学) |
| 4. 議事(審議事項) 議長 | 太田 剛(四国大学) |
| 1) 平成27年度事業報告→【資料1】 | 石井 健(東京学芸大学) |
| 2) 平成27年度決算報告→【資料2】 | 永由 徳夫(群馬大学) |
| 3) 平成27年度監査報告 | 大橋 修一(川口短期大学) |
| 4) 平成28年度事業計画(案)→【資料3】 | 石井 健(東京学芸大学) |
| 5) 平成28年度予算(案)→【資料4】 | 永由 徳夫(群馬大学) |
| 6) その他 | |
| 5. 報告事項 | |
| 1) 学会誌について | 鈴木 晴彦(日本大学) |
| 2) 次年度開催大学あいさつ | 東京学芸大学 橋本 栄一 先生 |
| 3) 新入会員紹介→【資料6】 | 事務局 |
| 4) 創立60周年記念事業に関するアンケートについて | 角田 勝久(新潟大学) |
| 5) 学会 ホームページについて | 鈴木 晴彦(日本大学) |
| 6) その他 | 事務局 |
| 6. 閉会のことば | 小川 博章(淑徳大学) |

●10:30～12:10 研究発表 午前の部

第1会場(北桐ホール) 司会: 小川博章(淑徳大学)

10:30～11:00 馬王堆帛書《戦国策縦横家書》の字形について

新潟大学大学院教育学研究科教科教育専攻美術教育専修(書道)1年 太田将浩

11:05～11:35 三国・呉「谷朗碑」考

大妻中野中学校・高等学校非常勤講師 小林拓也

11:40～12:10 米芈「張大亨題名」に関する考察

大東文化大学人文科学研究科兼任所員 中村 薫

第2会場(E21 教室) 司会: 鈴木晴彦(日本大学)

10:30～11:00 日本書論における『東坡題跋』の受容 一具原益軒『心画軌範』『和俗童子訓』による影響と広がり—

群馬大学大学院教育学研究科国語教育専修2年 今井裕登

11:05～11:35 夏目漱石『行人』と「喪乱帖」 帝京大学大学院文学研究科日本文化専攻博士課程後期課程2年 河島由弥

11:40～12:10 植民地期の朝鮮書道—朝鮮美術展覧会を中心に—

福岡教育大学大学院教育学研究科教育科学専攻美術教育コース 日高拓哉

●13:00～14:40 研究発表 午後の部

第1会場(北桐ホール) 司会: 永由徳夫(群馬大学)

13:00～13:30 鈴木翠軒の書風形成—国定教科書執筆を中心に—

新潟大学講師 清水文博

13:30～14:00 明治期における石碑の制作について—長三洲と日高秩父の関わりを中心として—

東京学芸大学准教授 橋本栄一

14:10～14:40 北魏洛陽の墓誌と漕運の関連性に関する一考察

愛媛大学教授 東 賢司

《大会記念講演》

●14:50～16:10

演題:《摩擦^{ドクマ}の劇》としての宮澤賢治童話—井上有一との接点をめぐって—

講師: 木村 直弘 先生 岩手大学人文社会科学部教授。専門は、音楽学を中心とする美学・藝術学。現在、日本音楽学会常任委員、宮沢賢治学会イーハトーブセンター理事、日本現代詩歌文学館企画委員。また、岩手大学内の宮澤賢治センター理事として、同センターの定例研究会の運営、機関誌『賢治学』(東海大学出版部刊)の企画・編集・執筆等にも従事。

●16:10 閉 会

●三学会合同懇親会 日 時 9月24日(土) 18:00～20:00 会 費 6,000円(大学院生は4,500円)
 場 所 ホテルメトロポリタン盛岡本館(JR盛岡駅直結)4階「岩手」

《会員書作展》 会 期 9月23日(金)～9月25日(日)10:00～17:00
 会 場 岩手大学附属図書館1階アザリアギャラリー(図書館は大学正門から約100m)

《理 事 会》 日 時 9月24日(土) 16:50～17:50
 会 場 ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング3階「桐」

《 総会資料 》

資料 1

平成 26 年度事業報告 → 承認

(平成 27 年)	6 月 13 日	学会誌『大学書道研究』第 8 号、会報、会費払込用紙、平成 27 年度（横浜）第 1 次案内、会員書作展出品要項ほか、発送
	7 月 17 日	平成 27 年度（横浜）大会研究発表申込締切日
	8 月 2 日	常任理事会／平成 27 度（横浜）大会、発表者及び発表順、総会議事案ほかについて
	8 月 20 日	平成 27 年度会員書作展作品送付締切日
	9 月 13 日	平成 27 年度（横浜）大会第 2 次案内ほか 発送
	10 月 1 日	学会誌論文投稿申込締切日
	10 月 10 ～ 12 日	平成 27 年度会員書作展（横浜国立大学教育人間科学部）
	10 月 10 日	理事会（横浜大会、役割分担確認、総会議事検討）
	10 月 11 日	平成 27 年度（横浜）大会（総会、研究発表、公開座談会）／三学会合同懇親会
	11 月 15 日	学会誌投稿論文受付締切日
	11 月下旬～	学会誌投稿論文査読
	12 月 26 日	常任理事会（査読結果確認及び学会誌の発行、平成 28 年度岩手大会について）
(平成 28 年)	2 月～3 月	学会誌編集
	3 月 20 日	常任理事会／三学会合同役員会（横浜大会、平成 28 年度岩手大会について）

資料 2

平成 27 年度決算報告 → 承認

A：収入の部		
1	平成 26 年度繰越金	3,355,531 円
2	平成 27 年度会費（152 口）	1,473,000 円
3	『書の古典と理論』印税	260,400 円
4	雑収入	
	横浜大会参加費等返金	32,398 円
	会員書作展残金	164,200 円
	預金利子	75 円
	合 計	5,285,604 円
B：支出の部		
1	横浜大会運営補助費・謝金	150,000 円
2	理事会費（会議費・交通費：197,834 全国大学書道学会プロジェクト会議費：86,500）	284,334 円
3	印刷費（学会誌No.8 367,200 会報No.14, No.15 241,920）	609,120 円
4	通信費	111,430 円
5	事務費（消耗品費・振替手数料）	101,045 円
6	ホームページ更新費	40,068 円
7	その他（東洋アジア学会費）	4,000 円
	合 計	1,299,997 円
● A - B（5,285,604 - 1,299,997）= 3,985,607 ※次年度繰越金		

上記の通り報告いたします。
以上相違ありません。

平成 28 年 9 月 25 日
平成 28 年 9 月 25 日

事務局会計担当
監 査
同

柿木原くみ ㊟
大橋 修一 ㊟
計良 裕佳 ㊟

資料 3

平成 28 年度事業計画（案）→ 承認

(平成 28 年)	6 月 10 日	学会誌『大学書道研究』第 9 号、会報、会費払込用紙、平成 28 年度大会第 1 次案内、会員書作展出品要項、発送
	7 月 8 日	平成 28 年度（岩手）大会研究発表申込締切日
	8 月 2 日	常任理事会（平成 28 年度（岩手）大会、発表者及び発表順、総会議事案、等 について） 三学会合同役員会
	8 月 5 日	平成 28 年度会員書作展作品送付締切日
	8 月 28 日	平成 28 年度（岩手）大会 第 2 次案内、発表要旨集、発送
	9 月 16 日	学会誌論文投稿申込締切日
	9 月 23 ～ 25 日	平成 28 年度会員書作展（岩手大学附属図書館 1 階アザリアギャラリー）
	9 月 24 日	理事会（岩手大会、役割分担確認、総会議事検討ほか）／三学会合同懇親会
	9 月 25 日	平成 28 年度（岩手）大会（総会、研究発表、記念講演）
	11 月 10 日	学会誌投稿論文受付締切日、学会誌投稿論文査読（下旬～）
	12 月下旬	常任理事会（査読結果確認及び学会誌の発行について）
(平成 29 年)	1 月～3 月	学会誌編集
	3 月中旬	常任理事会／三学会合同役員会（岩手大会、平成 29 年度大会について）

資料4

平成28年度予算(案) → 承認

A：収入の部		
1	平成27年度繰越金	3,985,607 円
2	平成28年度会費(200口)	1,200,000 円
3	『書の古典と理論』印税	250,000 円
4	雑収入	
	預金利子	93 円
合 計		5,435,700 円
B：支出の部		
1	岩手大会運営補助費・謝金	150,000 円
2	理事会費(会議費・交通費)	400,000 円
3	印刷費(学会誌No.9 会報No.16, No.17)	700,000 円
4	通信費	150,000 円
5	事務費(消耗品費・振替手数料)150,000 円	
6	ホームページ更新費	100,000 円
7	全国大学書道学会プロジェクト経費	100,000 円
8	予備費	3,685,700 円
合 計		5,435,700 円

資料5

全国大学書道学会 役員 (平成28年4月から平成30年3月まで) (案) → 承認

参 与	加藤 達成 吉田 繁 城所 正 前田 舜次郎 野中浩俊
会 長	平形 精一(静岡大学名誉教授)
副 会 長	竹之内裕章(佐賀大学名誉教授)
理 事 長	横田 恭三(跡見学園女子大学)
副理事長	柿木原くみ(相模女子大学)
常任理事	鈴木 晴彦(日本大学) [学会誌編集担当]
	小川 博章(淑徳大学) [学会誌編集担当]
	角田 勝久(新潟大学) [学会誌編集担当]
	永由 徳夫(群馬大学) [事務局・会計担当]
	石井 健(東京学芸大学) [事務局・庶務担当]
理 事 (地区担当)	* 各地区原則2名
[北海道]	須田 義樹(北海道教育大学)
[東 北]	玉澤 友基(岩手大学)
[北 陸]	小林比出代(信州大学)
[関 東]	森岡 隆(筑波大学)
	萱 のり子(東京学芸大学)
[東 海]	木村 博昭(愛知教育大学)
	中根 安治(岐阜女子大学)
[近 畿]	岡田 直樹(京都教育大学)
[中 国]	住川 英明(鳥取大学)
	谷口 邦彦(安田女子大学)
[四 国]	東 賢司(愛媛大学)
	森上 洋光(四国大学)
[九 州]	小原 俊樹(福岡教育大学)
	神野 雄二(熊本大学)
理 事 (会務担当)	* 若干名
	杉山 勇人(鎌倉女子大学)
	見城 正訓(静岡大学)
監 査	大橋 修一(川口短期大学)
	計良 裕佳(相模女子大学)

資料6

平成27年度(横浜)大会以後、岩手大会まで新入会員・準会員/退会・退会申出者暫定一覧

《 会 員 》	浪田美智枝(北海学園大学非常勤講師)	古木 誠彦(九州女子大学准教授)
	金 貴粉(国立ハンセン病資料館学芸員)	伊藤 亜美(跡見学園女子大学非常勤講師)
	安生 成美(茨城県立八千代高等学校教諭)	小林 拓也(大妻中野中・高等学校非常勤講師)
	津田 好一(二松学舎大学非常勤講師)	
《 準会員 》	三井 忠大(横浜国立大学大学院/推薦者：青山浩之)	
	日高 拓哉(福岡教育大学大学院修士課程/推薦者：小原俊樹)	
	藤井俊太郎(群馬大学大学院修士課程/推薦者：永由徳夫)	
	太田 将浩(新潟大学大学院修士課程/推薦者：角田勝久)	
	増田 桃子(新潟大学大学院修士課程/推薦者：岡村浩)	
	松本 美恵(関西大学大学院/推薦者：西山明美)	
《 退会・退会申出者 》	風岡 正明	

大会記念講演

「〈摩擦の劇〉^{ドラマ}としての宮澤賢治童話

―井上有一との接点をめぐって― 要旨

静岡大学 見城 正訓

木村直弘先生（岩手大学人文社会科学部教授）を講師に迎えての大会記念講演が行われた。今年は、岩手大学出身・宮澤賢治の生誕一二〇年であり、前衛書家井上有一の生誕一〇〇年を迎える記念すべき年でもあることから、『摩擦』という二人に関連した観点からの講演であった。まず冒頭で『摩擦』について、石川九楊の「書とは、筆の尖端と紙（対象）との間で繰り広げられる力（筆蝕）の劇」等の引用文を紹介された。木村先生の大学院当時からワープロ等は流通していたが、ワープロの文章は軽いと感じると同時に、学生は手書きの場合、考えながらノートをとることから「手で書くことは、脳を使う」ことを実感され、講義で黒板に板書した際に感じた『摩擦』が重要なのではないかと考えたという。

次いで、高村光太郎の書を紹介された。彼の書に「字を彫った感覚、削った感覚がある」いわゆる『刀意』を感じ取ったところから発展し、「書く」から「かく」に広がり、石川の、石を「欠け」ば彫刻になり、打楽器は物を「欠く」時の音であり、弦楽器はキューツと引つ「掻く」と音がする、「かく」表現を引用し、「かく」に共通したものが『摩擦』であり、『振動』であるとし、擦弦楽器の一例としてチェロを使いながら、下手な人ほど摩擦を感じる、上手な人ほど滑らかに入る、これが賢治に関係していると解説された。

そして、井上と賢治の接点についての本題に入ったが、その接点とはズバリ「言葉書」であった。書はとかく音の概念が希薄なのではないかと考えられるが、井上は書を書く際に大声で叫んでいたとされ、彼の代表作で

ある「愚徹」は「グテツ、グテツ」と怒鳴りながら、筆を叩きつけていったのである。さらに晩年、闘病生活に入った際、病院から鉛筆・コンテで書くことは許可されたので、それらを用いてブツブツ言いながらギュウギュウ書く「言葉書」をした。その「言葉書」の題材について、井上は「草野心平の蛙の声はブツブツ言うのに一番いい。宮澤賢治の雨ニモ負ケズはもともと独り言だ」と述べている。また、「言葉書」に関しては、栗本高行の「井上有一という書家が発明した「言葉書」は、（中略）「文字」意味を排した音」という等式を日本書の領域にうち立てる役割を果たしたといえる」との引用文を紹介された。

井上と賢治の共通点は「法華信仰」で、般若心経は意味を考えるのではなく、音を唱えることを最重要とするもので、そこから賢治はその音に振動・摩擦を共有することに念仏の本質があると考え、その共振効果を狙って振動・摩擦表現に満ちたオノマトペを多用したとされる。そこで実際に『セロ引きのゴースユ』を取り上げ、「ガ行音」で示される「擦弦音」を主に、多様な様相における「摩擦」表象で統一されている、と解説された。一方、井上は、ブツブツ言いながらコンテで摩擦を感じながら書きつける「言葉書」を通じて、オノマトペに見られる『摩擦音』や『振動音』といった賢治を読み解くのに重要な本質をとらえている気がする、と木村先生は結ばれた。今回の講演を通じて、書を制作するうえで文字の形や意味だけを考慮するのではなく、そこに音の概念を加味する必要性を改めて感じる機会となった。ご講演くださった木村先生に深謝申し上げ、結びとする。



▲チェロを演奏する木村先生

平成二十八年年度全国大学書道学会 会員・準会員一覽

相川 匡也	栃木県	武蔵野大学	岡島 正秀	神奈川県	岐阜女子大学	衣川 彰人	愛知県	愛知教育大学	水田至摩子	埼玉県	島山記念館
青木 馨子	東京都	静岡野大学	岡田 直樹	大阪府	京都教育大学	木村 博昭	愛知県	愛知教育大学	杉浦 妙子	東京都	二松学舎大学
青木 悟	静岡県	静岡大学	岡田 新子	兵庫県	武庫川女子大学	清兼 孝生	北海道	北海学園大学	杉崎 哲子	静岡県	静岡大学
青木 辰樹	埼玉県	県立羽生高等学校	岡崎 忍	神奈川県	相模女子大学中部	金 貴粉	東京都	国立ハンセン病資料館	杉山 勇人	神奈川県	鎌倉女子大学
青戸 貴子	鳥取県	米子市立美術館	岡野屋宏一	東京都	桐朋女子中・高等学校	草津 祐介	東京都	都留文科大学	鈴木 清	東京都	東京家政学院大学
青山 浩之	神奈川県	横浜国立大学	岡村 浩	新潟県	新潟大学	久多見 健	熊本県	県立となみ野高等学校	鈴木 慶子	長崎県	長崎大学
赤岸 恵	神奈川県	文字工房赤岸	尾川 明徳	東京都	五島美術館	熊坂 尚史	東京都	巣鴨中・高等学校	鈴木 晴彦	千葉県	日本大学
赤平 和順	東京都	大正大学	小川 崇	埼玉県	県立豊岡高等学校	倉本 優子	福岡県	福岡女子短期大学	須田 義樹	北海道	北海道教育大学岩見沢校
浅野 多鶴	岐阜県	愛知教育大学	小川 貴史	新潟県	県立新潟高等学校	黒田 悟史	埼玉県	ノートルダム清心女子大学	砂川さつき	福岡県	鳥取県
東 國恵	徳島県	徳島大学名誉教授	小川 博章	東京都	淑徳大学	計良 裕佳	群馬県	相模女子大学	住川 英明	鳥取県	鳥取大学
阿部 啓隆	東京都	帝京大学大学院	奥 光真	茨城県	県立牛久栄進高等学校	見城 正訓	静岡県	静岡女子大学	高木 厚人	千葉県	鹿兒島県
荒井 一浩	東京都	東京学芸大学附属高等学校	小倉菊太郎	山口県	山口大学	小浦 直人	福岡県	九州女子大学	鷹塚 知美	埼玉県	大東文化大学
荒金 智絵	群馬県	群馬大学大学院	小澤 恵	神奈川県	上越教育大学	古木 誠彦	福岡県	岡山明誠学院高等学校	高澤 浩一	千葉県	二松学舎大学
荒金 治	大分県	別府大学	押木 秀樹	新潟県	福岡教育大学	小竹 正高	岡山県	香川大学	高橋 美穂子	埼玉県	相模女子大学
荒金 信治	大分県	別府大学	落石 園美	東京都	福岡県	小西 憲一	香川県	信州豊南短期大学	高橋 克匡	埼玉県	帝京大学大学院
安生 成美	茨城県	県立八千代高等学校	小原 俊樹	福岡県	大東文化大学	小浜 大明	長野県	茨城町立梅香中学校	高橋 佑太	東京都	二松学舎大学
五十嵐ももこ	神奈川県	都立世田谷総合高等学校	折川 司	埼玉県	相模女子大学	小林 圭	東京都	大妻中野中・高等学校	高柳 幸雄	東京都	上武大学
五十嵐康子	千葉県	志学館中学校	柿原 忠幸	東京都	二松学舎大学	小林 拓也	東京都	信州大学	高橋 雅弘	群馬県	県立神戶高等学校
池田 孝一	大阪府	恵泉女学園大学	笠嶋 忠司	東京都	女子美術大学	小林比出代	埼玉県	関市立関商工高等学校	滝口 彩香	三重県	佐賀大学名誉教授
池田 利廣	東京都	東京学芸大学	勝田 浩司	福岡県	九州造形短期大学	駒瀬 公哉	岐阜県	大東文化大学書道研究所	竹嶋 秀聡	徳島県	徳島県立文学書道館
井澤 秀彦	東京都	東京学芸大学	加藤 達成	京都府	佛教大学	榎田 瞬一	埼玉県	大東文化大学書道研究所	武井 彩香	群馬県	安田女子大学
石井 健	埼玉県	高崎市立中居小学校	加藤 達	東京都	女子美術大学	近藤 和馬	新潟県	茨城大学	竹之内裕章	徳島県	常盤大学
石坂彩里沙	群馬県	昭和女子大学	加藤 泰弘	東京都	東京学芸大学	齋藤 久美	千葉県	武蔵野学院大学	立石 充	群馬県	岩手大学
板橋 聡美	東京都	跡見学園女子大学	加藤 祐司	埼玉県	東京学芸大学	齋藤 克美	埼玉県	新潟大学教育学部附属新潟中学校	田中 優花	群馬県	岩手大学
伊藤 亜美	埼玉県	武蔵野大学大学院	金子 章乃	東京都	日本大学	齋藤 英男	神奈川県	早稲田大学高等学院	谷口 邦彦	東京都	岩手大学
井上 悠	群馬県	群馬大学大学院	金子 馨	大阪府	佛教大学	坂井 孝次	福岡県	安田女子大学	田畑 理恵	東京都	岩手大学
今井 裕登	東京都	専修大学	金田 充康	徳島県	実践女子大学	佐々木佑記	千葉県	奈良学園大学	玉澤 友基	埼玉県	岩手大学
内門 亮子	埼玉県	星野学園小学校	亀田 二三	山口県	東京学芸大学	佐藤 英樹	広島県	奈良学園大学	田村南海子	東京都	岩手大学
海野 陽子	埼玉県	植草学園大学	萱 のり子	東京都	カリタス女子短期大学	塩出智代美	新潟県	静岡大学	淡海書道文化専門学校	東京都	岩手大学
浦野 俊則	東京都	四国大学	萱 晋	埼玉県	NHK学園高等学校	小竹 光夫	新潟県	新潟大学	鄭 卓	東京都	岩手大学
大柄みや子	徳島県	北海道札幌平岸高等学校	川合廣太郎	東京都	日本大学	渋谷みどり	茨城県	水戸第二高等学校	塚本 宏	東京都	岩手大学
太田 剛	北海道	新潟大学大学院	河合 仁	東京都	帝京大学大学院	清水 文博	新潟県	宮城教育大学	辻 尚子	東京都	岩手大学
太田 知美	新潟県	淑徳大学書学文化センター	河島 由弥	神奈川県	大東文化大学	下田 章平	宮城県	立正大学	辻井 義昭	東京都	岩手大学
大滝 英輔	兵庫県	県立出石高等学校	河内 利治	東京都	広島大学大学院	下田真奈美	埼玉県	立正大学	津田 好一	東京都	岩手大学
大住諭紀仁	埼玉県	埼玉大学	川原 淳	東京都	広島県教育委員会	白石 一貴	神奈川県	立正大学	角田 勝久	東京都	岩手大学
大野 幸子	埼玉県	埼玉大学	岸野 大	大阪府	清明学院高等学校	白鳥ゆう子	東京都	立正大学	津村 幸恵	東京都	岩手大学
大橋 修一	東京都	帝京大学大学院	北畠 康成	神奈川県	横浜国立大学名誉教授	城間 圭太	東京都	立正大学	徳廣 彩佳	東京都	岩手大学
大平 竜也	東京都	帝京大学大学院	北畠 康成	神奈川県	横浜国立大学名誉教授	進士さき子	東京都	立正大学	利光亜希子	東京都	岩手大学
大森アユミ	長崎県	長崎大学	城所 正	神奈川県	横浜国立大学名誉教授	神野 雄二	東京都	立正大学	土橋 幸正	東京都	岩手大学

登丸 昌子	神奈川県 横浜国立大学附属横浜小学校	福島 一浩	東京都 二松学舎大学
豊口 和士	神奈川県 文教大学	福島 肇	和洋女子大学名誉教授
豊島 嘉穂	福岡県 四国大学	福光 佐今	奈良教育大学
豊田 宗児	奈良県 奈良教育大学	藤井俊太郎	群馬大学大学院
鳥本 純平	京都府 府立東舞鶴高等学校	藤森 大雅	群馬大学大学院
仲川 恭司	埼玉県 元専修大学	細谷 恵志	大東文化大学
中島 好治	愛知県 岐阜女子大学	本多 和宏	立正大学
中根 安治	愛知県 岐阜女子大学	和田 舜次郎	県立柏井高等学校
中村 薫	東京都 大東文化大学人文学部研究所	増田 与久	盛岡大学
中村 史朗	京都府 滋賀大学	増田 桃子	元跡見学園女子大学
中元 雅昭	東京都 日本大学	松浦 貢	浜松学芸高等学校
長沼 雅彦	秋田県 秋田大学	増田 桃	新潟大学大学院
長尾 秀則	京都府 佛教大学	松尾 治	東洋大学
長野 秀章	東京都 東京学芸大学名誉教授	松永 恵子	専修大学
永由 徳夫	東京都 群馬大学	松本 仁志	群馬大学大学院
名取 誠純	東京都 帝京大学大学院	松本 京子	広島大学
名部 勝美	滋賀県 淡海書道文化専門学校	松本 美恵	関西大学大学院
浪田美智枝	北海道 北海学園大学	丸山 果織	神戸松蔭女子学院大学
成瀬 靖子	東京都 都立竹早高等学校	丸山 由香	県立久里浜高等学校
西川 竜矢	北海道 松前高等学校	三井 忠大	横濱国立大学大学院
西山 明美	兵庫県 武庫川女子大学	淵脇 貴子	大東文化大学
仁田幸一郎	東京都	蓑毛 政雄	四国大学
野田 悟	和歌山県 高野山大学	宮澤 正明	山梨大学
野中 浩俊	新潟県 岐阜女子大学	村山 昌央	北海道教育大学釧路校
信廣 友江	広島県 安田女子大学	森 哲之	広島文教女子大学
橋本 栄一	埼玉県 東京学芸大学	森岡 隆	筑波大学
蓮見 行廣	東京都 東京学芸大学	森下 洋光	四国大学
蓮見 行廣	神奈川県 県立茅ヶ崎高等学校	森上 弘	安田女子大学
長谷川千栄子	愛知県 愛知学院大学	森山 秀吉	熊本県立大学
長谷川昌弘	新潟県 新潟県	安 裕明	茨城大学
波多野彩佳	福岡県 福岡教育大学	安原 亜悠	岡山県 県立津山高等学校
服部 一啓	神奈川県 早稲田大学	柳田さやか	岡山県 県立津山記念館
濱田 瑞美	熊本県 尚絅大学	矢原 徳子	広島県 尾道大学
林田俊一郎	群馬県 千葉大学	八尋 友惟	東京学芸大学大学院
樋口 咲子	愛媛県 愛媛大学	山内 常正	静岡県 静岡大学
東 賢司	大阪府 大阪樟蔭女子大学	山口 恭子	東京都 法政大学
東野 敏夫	福岡県 福岡教育大学大学院	山崎真由美	東京都 都立新宿高等学校
日高 拓哉	静岡県 常葉大学	山下 由季	東京都 東京学芸大学
平形 精一	岩手県 岩手大学	山下 典生	福井県 福井大学
平田 光彦	新潟県 新潟県	山本 彩	筆の里工房
平馬季三代	新潟県 新潟大学大学院	山本 興	県立松江農林高等学校
廣木 知佳	東京都 武蔵野大学	山本 祐司	中部大学
廣瀬 裕之	東京都 帝京大学	湯川 恵子	日本放送協会学園

横田 恭三	吉澤 義和	吉田 繁	吉田 真	和田 圭壮	和田 幸大	渡瀬 仁	渡邊 亮太	跡見学園女子大学	元文教大学	東京学芸大学名誉教授	日本パソコン能力検定委員会	福岡教育大学	東京大学史料編纂所	大東文化大学大学院	足立 敦子	中嶋 久美	茨城県 相模女子大学	青森県 弘前大学	※平成二十八年大会開催後の新入会員	（平成二十八年十月一日現在）	総会員数 二六二名	（平成二十八年十二月三十一日現在）	*氏名を五十音順に配列し、居住地の都道府県名、所属を記しました。所属について、変更の申し出がないものについては昨年度の一覧に掲載したものをもそのまゝ掲載しています。	*氏名、都道府県、所属に変更あるいは誤りがある場合、記載漏れがある場合は事務局庶務担当まで文書でお知らせください。	*現在、大学案内、学会誌、会報等はメール便で送付しています。住所変更・転居の場合は新たな住所・転居先を速やかに事務局庶務担当宛文書でお知らせください。正確・迅速な発送を期するために皆様のご協力をお願いいたします。
-------	-------	------	------	-------	-------	------	-------	----------	-------	------------	---------------	--------	-----------	-----------	-------	-------	------------	----------	-------------------	----------------	-----------	-------------------	--	---	--

新入会員推薦のお願いならびに入会申し込みについて

会員の皆様から、新入会員（準会員）をご推薦いただき、本会の一層の充実を図りたいと考えております。全国大学書道学会ホームページより申込用紙をダウンロードし、お申込みいただきたくお願い申し上げます。

〈入会手続き〉

- *「新入会員用会員原票（入会申込書）」に必要事項を記入の上、**事務局・会計担当（下記所在地）まで郵送またはFAX（027-220-7235）**送信してください。
- *年会費は、会員6,000円、準会員5,000円です。なお、大学院生（準会員）は、大学院修了後は、会員の資格として扱います。
- *送金は、事務局・会計担当まで郵便振替振込用紙（赤色用紙）をご請求いただき、郵便振替にてお願いいたします。（用紙の通信欄に、「新入会員入会年度年会費」もしくは「新入準会員入会年度年会費」と明記してください。）
- *振込先は下記の通りです。

■ 口座番号 00110-9-61380

■ 加入者名 全国大学書道学会

〈事務局・会計担当〉 〒371-8510 群馬県前橋市荒牧町4-2 群馬大学教育学部書論・書道史（永由徳夫）
TEL/FAX 027-220-7235

平成二十八年年度

全国大学書道学会会員書作展

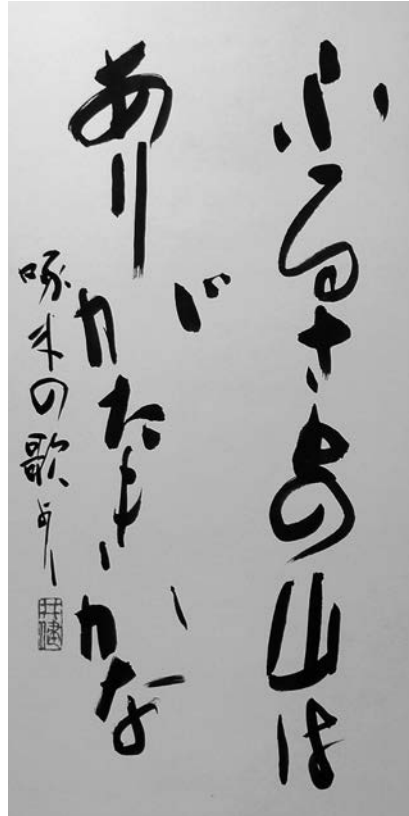
会期 平成二十八年九月二十三日(金)～二十五日(日)

会場 岩手大学附属図書館アザリアギャラリー

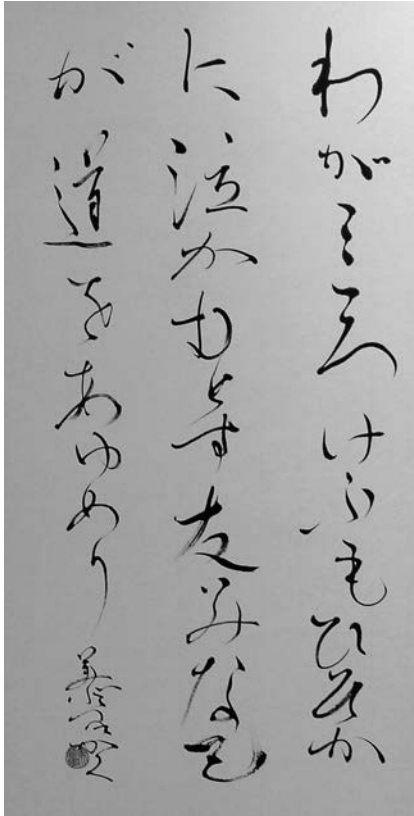
I 啄木・賢治・光太郎を書く

石川啄木を書く

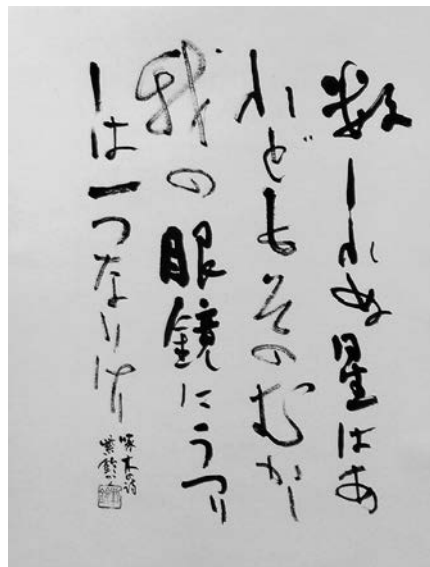
1 ふるさとの山 石井健 (東京学芸大学)



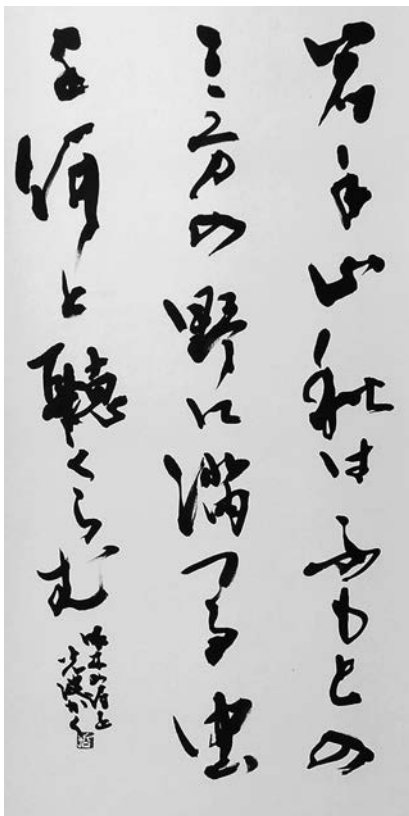
3 煙一 渋谷美登里



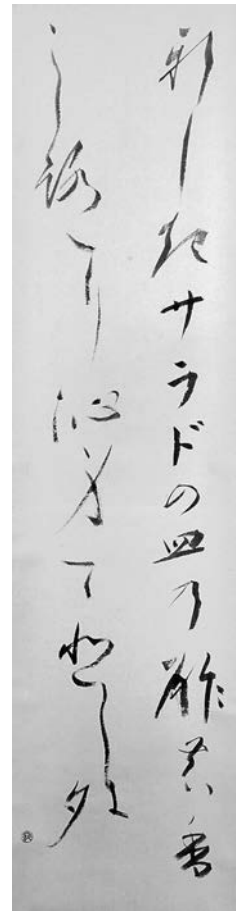
2 わが星 柿木原紫鈴 (相模女子大学)



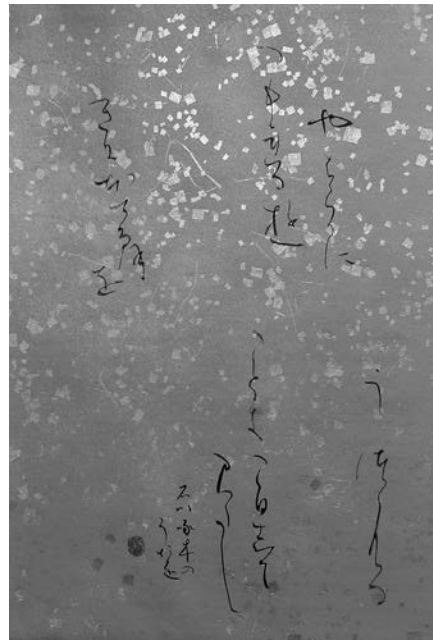
4 啄木の詩 杉崎光波 (静岡大学)



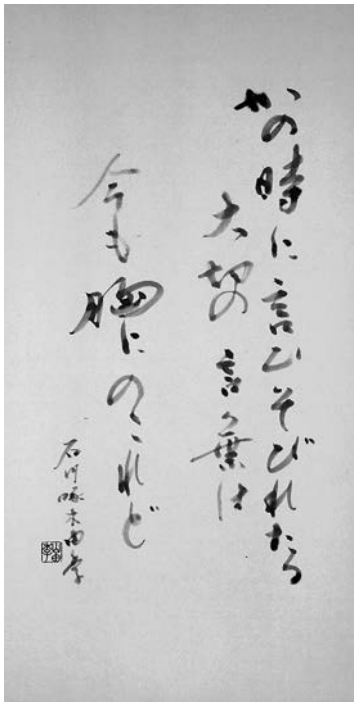
5 元祖サラダ記念日 永由徳夫（群馬大学）



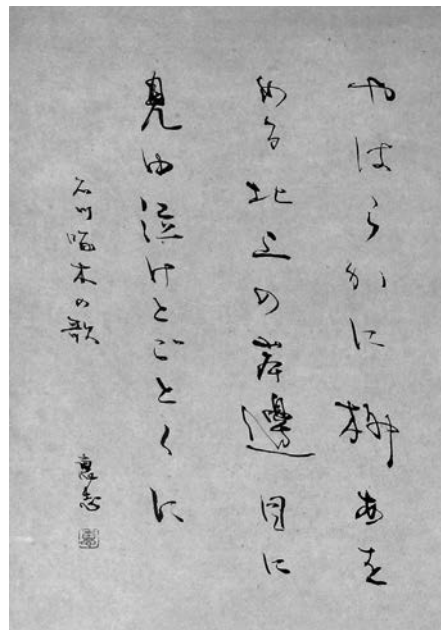
7 ゆき 藤田朱雀（武庫川女子大学）



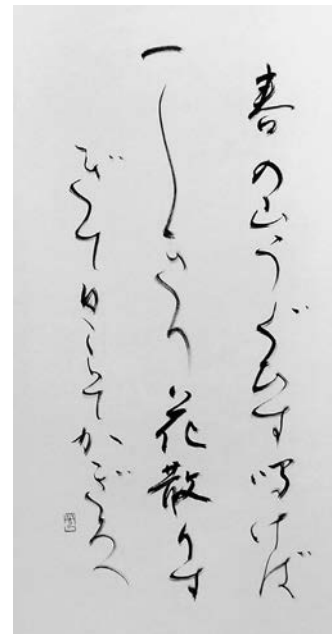
9 石川啄木の歌 山下由季（東京学芸大学）



8 石川啄木の歌 細谷恵志（立正大学）

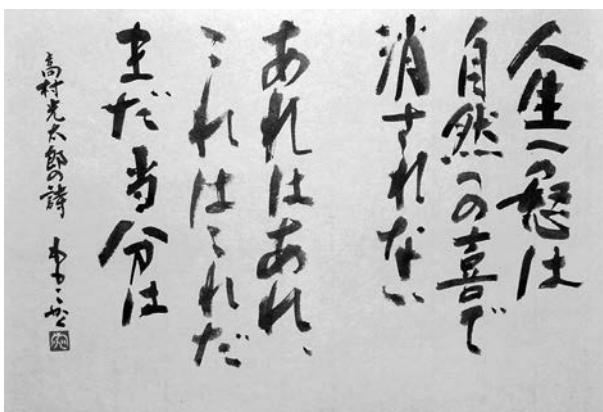


6 片山清水（石川啄木）の歌を 平田光彦（岩手大学）

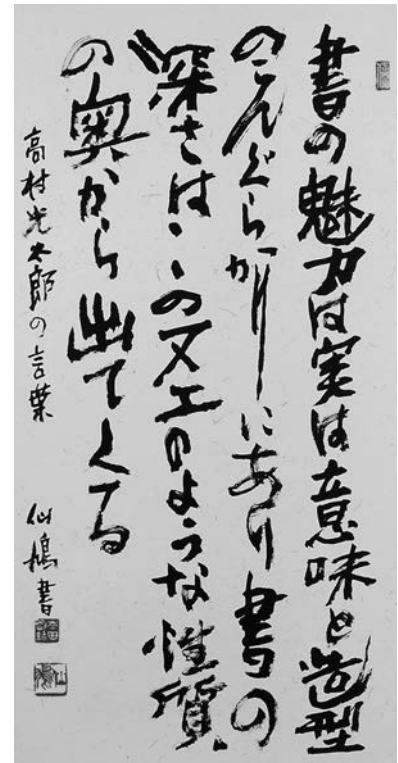


高村光太郎を書く

10 「偶作 四篇」より 五十嵐ももこ（都立世田谷総合高校）



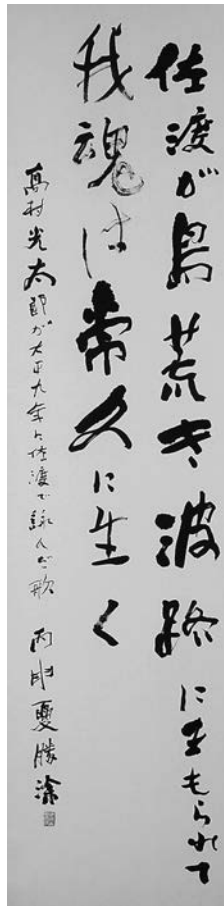
11 高村光太郎の言葉 太田仙鳩（四国大学）



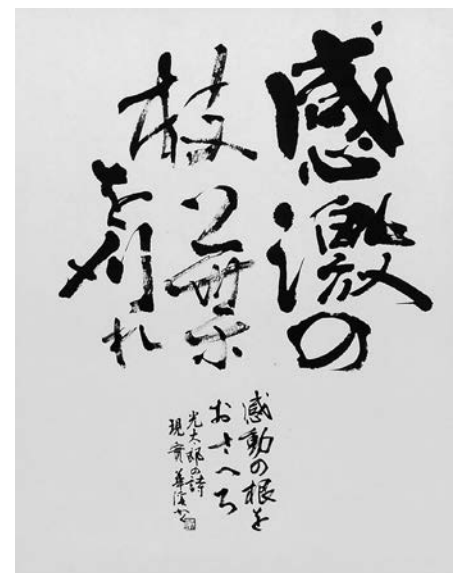
13 高村光太郎著「緑色の太陽」から 田畑理恵（常磐大学・都留文科大学）



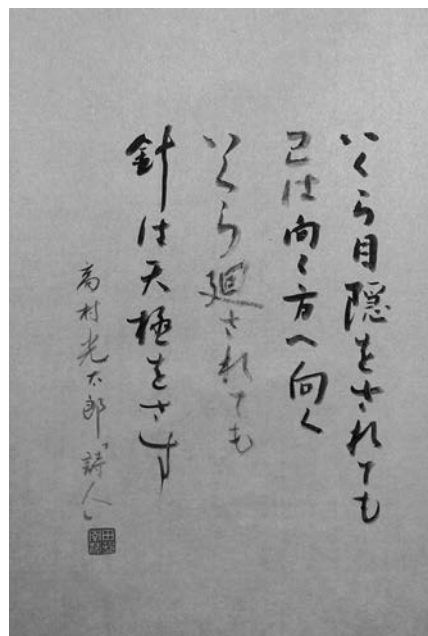
15 高村光太郎の歌 角田勝久（新潟大学）



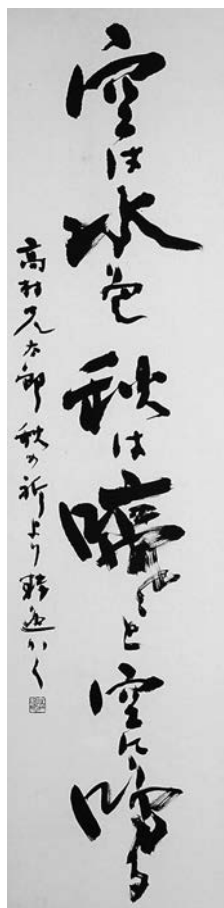
12 光太郎の詩 現實 齋木華溪（茨城大学）



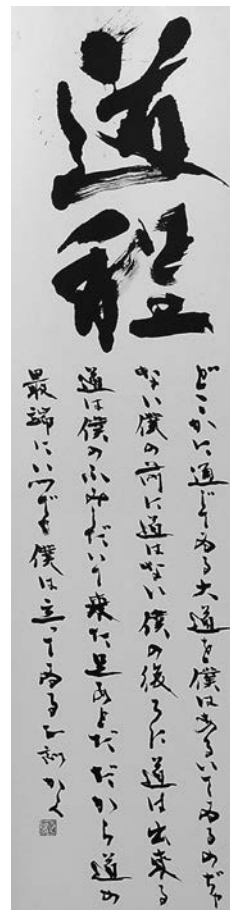
14 高村光太郎の詩 田村清華（國學院大學）



16 秋の祈 平形精逸（静岡大学）



17 道程の一節 見城正訓（静岡大学）



宮澤賢治を書く

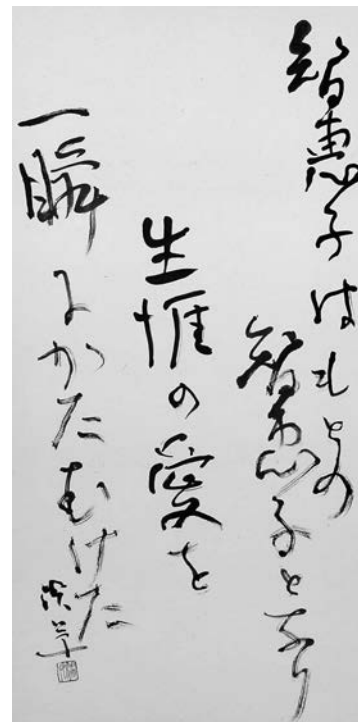
19 山火 井上悠



21 みんなむかしからのきやうだい：
杉山 勇人（鎌倉女子大学）



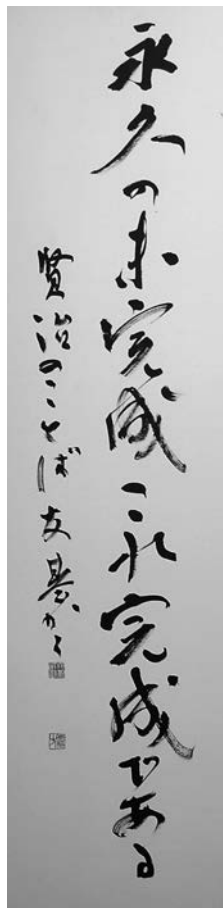
18
レモン哀歌（智恵子抄）
森山淡草



20 岩手山 小川博章（淑徳大学）

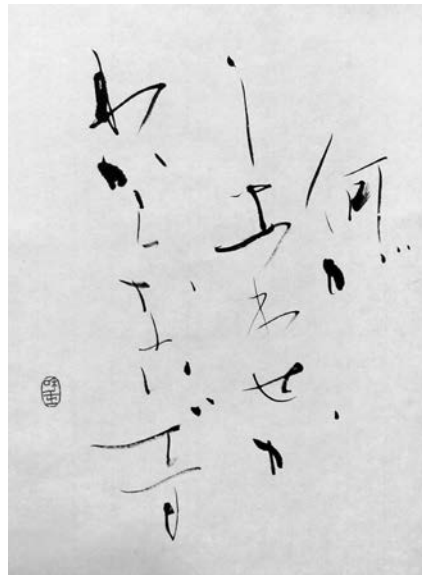


22 宮澤賢治「農民藝術概論綱要」より 玉澤岑碧（岩手大学）

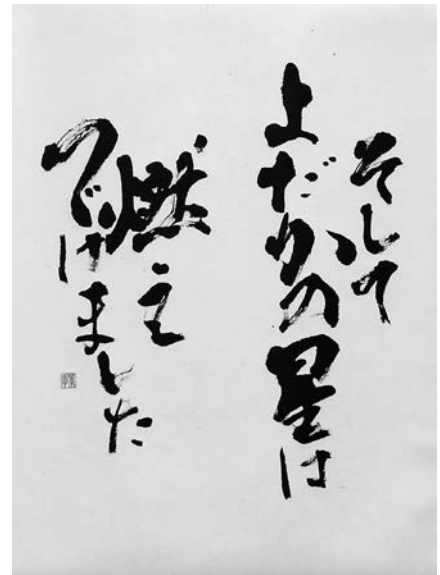




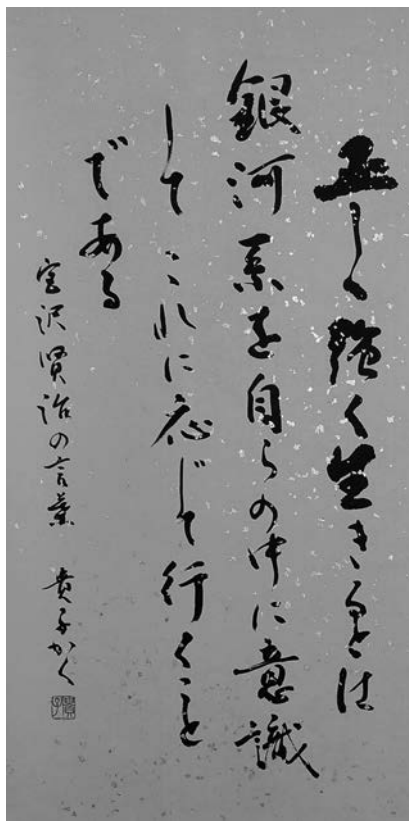
27 「注文の多い料理店」より 廣瀬丹雲（武蔵野大学）



25 宮澤賢治「銀河鉄道の夜」より 豊口和士（文教大学）



23 「よだかの星」より 津村紫幸（千葉大学）



28 『農民芸術概論綱要』より 奥脇貴子（大東文化大学）

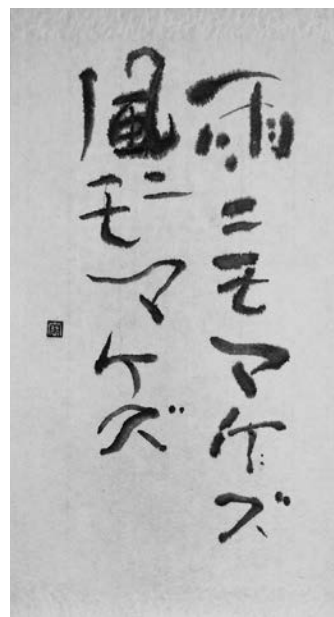


26 雨ニモマケズ 樋口竹城（千葉大学）



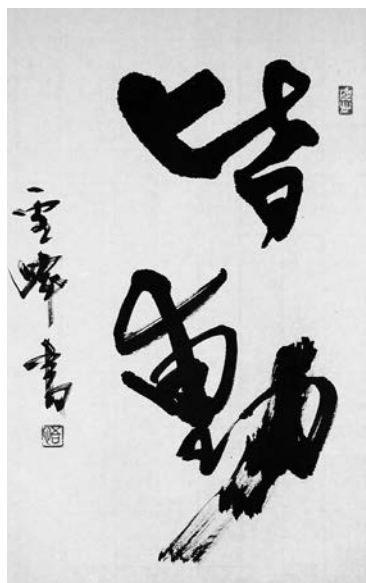
24 「やまなし」の一節 土橋草石（比治山大学）

29 雨ニモマケズ 本田容子（盛岡大学）



II 自由作品

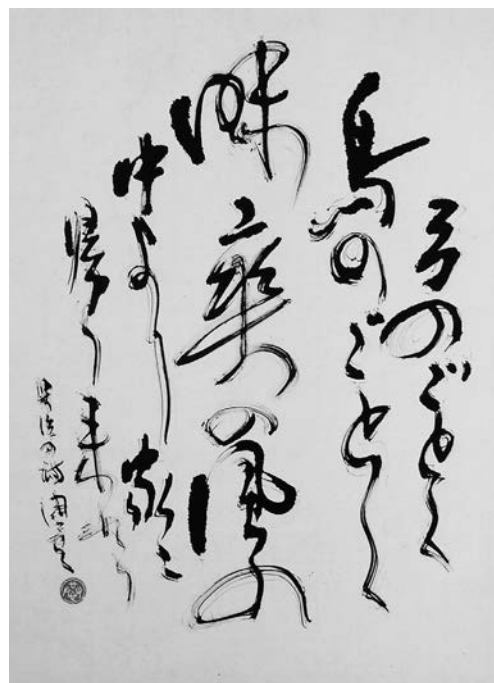
31 皆動 青木雪峰（静岡大学）



33 和氣致祥 大住仁堂（兵庫県立出石高等学校）



30 弓のこくとく 横田閑雲（跡見学園女子大学）



32 華麗 青山浩之（横浜国立大学）

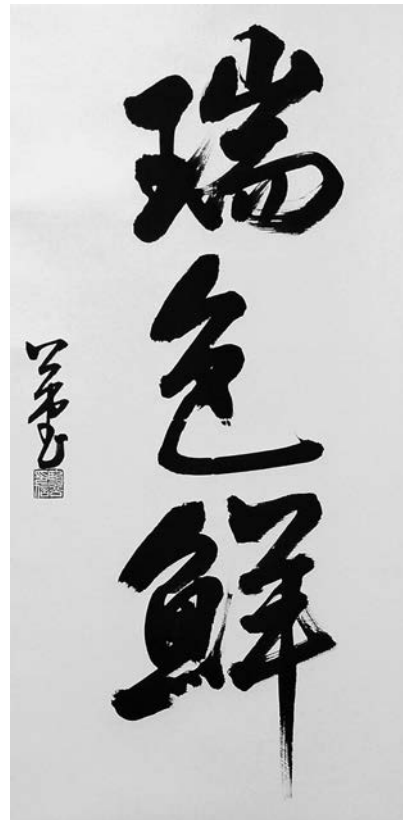


34 龍吹鶴語 太田将浩（新潟大学大学院生）





39 「熊本地震」を書く 神野大光（熊本大学）



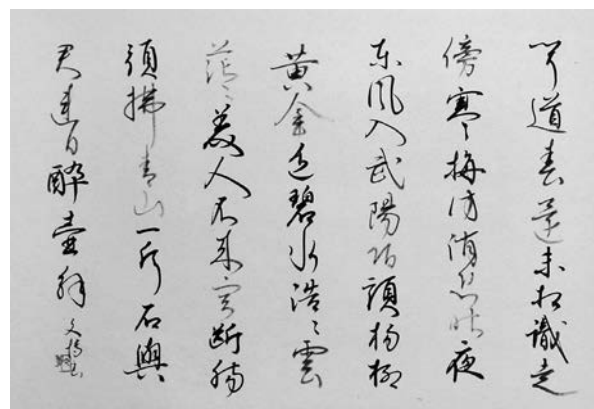
37 瑞色鮮 駒瀬公堂（関市立関商工高等学校）



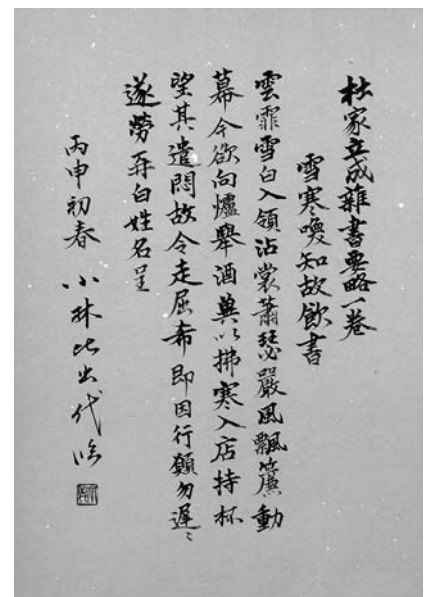
35 錐畫沙・印印泥 小西斗虹（香川大学）



40 多識由博學 高橋佑太（相模女子大学）



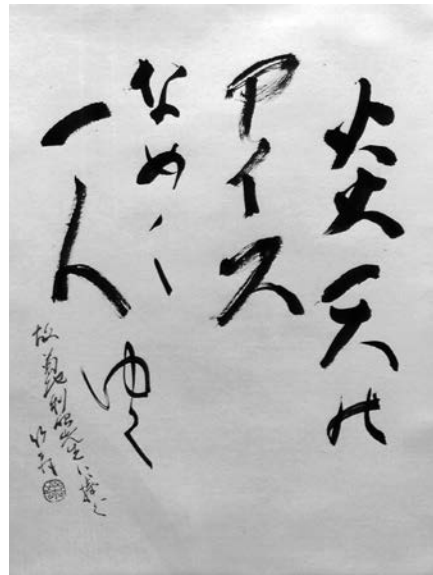
38 早春寄王漢陽 清水文博（新潟大学）



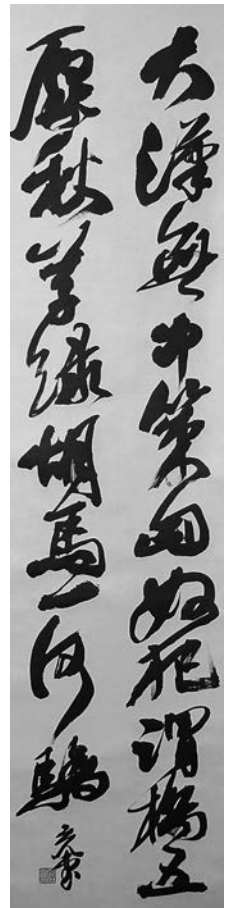
36 臨杜家立成雜書要略 小林比呂代（信州大学）



45 臨石門頌 橋本栄一 (東京学芸大学)



43 故菊池利昭先生に捧ぐ 長野竹軒 (東京学芸大学)



41 李白詩 塞上曲 立石充堂 (徳島県立文学書道館)



46 耀 服部一啓 (福岡教育大学)



44 延壽 野中吟雪 (岐阜女子大学)



42 賀満跑世 塚本虚齋 (和洋女子大学)



51 玄海 和田勁艸（福岡教育大学）



49 性霊集四 松尾治（専修大学）



47 性霊集語 東南光（徳島大学）

—— お知らせ ——

全国大学書道学会は平成三十年に六十周年を迎えます。岩手大会では記念事業の内容について参加会員にアンケートを実施しましたが、他の会員からのご意見を伺う機会がございました。そこで、本会報発刊の機会を利用し、周知をかねて広くご意見をいただきたいと思います。ちなみに大会実施済みアンケートでは①台湾鑑賞ツアー ②記念講演 ③会員所蔵文物鑑賞などの項目をあげたところ、とくに①案の台湾鑑賞ツアーに票が多く集まりました。その他にもご意見いただければ幸いです。

平成二十九年三月十五日までに事務局までご連絡をお願いいたします。



50 典法無更 森上洋光（四国大学）



48 一葉飄冷 増田桃子（新潟大学大学院生）